

2022. 12. 5

第2回しずぎんアイデアコンペティション「ジョイントLAB.」の連携事業アイデアを選定

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、地方創生の取り組みの一環として実施する「第2回しずぎんアイデアコンペティション『ジョイントLAB.』」において、応募総数67件の事業アイデアのなかから3先を連携事業に決定しましたので、その概要をご案内します。

なお、連携事業アイデアについては、今後、新たな展開に向けて具体的な検討を進めていきます。

1. 連携事業アイデアについて

(1) 株式会社タレントアンドアセスメント（東京都港区）

- ・事業アイデア／対話型AI面接サービス SHaiN ～資質を可視化するAI面接～
- ・事業内容／AI面接によって公正公平な面接を実現し、静岡銀行およびお客さまの人材採用・育成等における課題解決をめざす

(2) 株式会社JDSC（東京都文京区）

- ・事業アイデア／データ×AIを活用した見守りサービスの構築、金融×他データ利活用の推進
- ・事業内容／各種データをAIが解析することで声かけを行うべき高齢者を見つけ出し、高齢者・ご家族に安心・安全をお届けするサービスの構築および静岡銀行が取得できるデータ利活用の推進

(3) 一般社団法人日本顧問介護士協会（静岡市清水区）

- ・事業アイデア／「顧問介護士」導入で介護離職を防ぐ！貴重な人財の介護離職を防ぎ、企業の持続可能をサポートする“新しい形の福利厚生”
- ・事業内容／介護相談のアウトソーシング。「365日介護コンシェルジュ」で介護の困りごとをまるごとサポート。「身近な人の介護があっても安心して働き続けられる」と「貴重な人財の介護離職を防ぐ」を支援する事業。

2. 第2回しずぎんアイデアコンペティション「ジョイントLAB.」について

- (1) 募集期間／3月2日（水）～4月15日（金）
- (2) 応募資格／静岡銀行と連携し、事業を実現しようとする法人・個人等
- (3) 応募総数／67件
- (4) 審査経緯／1次選考、2次選考、プレゼンテーション審査会を経て連携事業者を決定
- (5) 募集テーマ／静岡銀行および地域における「サステナビリティ」または「ダイバーシティ&インクルージョン」を実現させるための事業アイデア

<ご参考>

- ・「しずぎんアイデアコンペティション『ジョイントLAB.』」において、本選とは別にグループ会社を対象とした選考を実施し、静岡リースが提案した協業アイデアを選定しました。今後も、グループ連携のもと、新たな付加価値の創出をめざして、事業の具体化に向けて取り組んでいきます。

静岡リースの協業アイデア「トレーラーハウスから始まる街づくり」

- ・内容／トレーラーハウスによる利点を活かした「BCP+レジャー拠点」の設置
平常時は収益を生み出す施設として、災害発生時は、被災住民にとってプライバシーを確保した避難場所、太陽光発電による電力供給源としての役割を担う
- ・協業先／県内自治体、県内レジャー宿泊業者